

●がん登録（がん登録部会）

| | |
|-----------------|---|
| 目指す姿 | <p>○本県の罹患率、5年生存率等が明らかとなり、がん対策の推進に活用されており、がんの罹患が減少しています。</p> <p>○上記の目標を達成するため、地域がん登録の精度が向上しています。</p> |
| 平成28年度 取組 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 第3期計画策定に向けての検討 → 事務局で評価指標を整理、第2回部会で検討。 2. がん登録推進事業 <ol style="list-style-type: none"> ①がん登録部会公開講演会の開催（P2） （がん登録データ活用に関する講演会） ②「奈良県のがん登録2012年」報告書作成、公表 ③地域がん登録データの活用について検討 3. がん診療連携協議会の取組→ 院内がん登録分科会の開催（1回）、研修会の開催（2回） <ul style="list-style-type: none"> ・がん登録従事者研修会の実施 ・各医療機関への情報提供等 |
| 平成29年度 取組（案） | <ol style="list-style-type: none"> 1. 第3期奈良県がん対策推進計画策定事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ならのがんに関する患者意識調査の実施。 2. がん登録推進事業 <ol style="list-style-type: none"> ①「奈良県のがん登録2013年」報告書作成、公表 ②地域がん登録データの活用について検討 2. がん診療連携協議会の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・院内がん登録分科会の開催（1回）、研修会の開催（2回） がん登録従事者研修会の実施 各医療機関への情報提供等 |
| 開催日 | 平成28年11月11日(金)、平成29年3月9日(木) |
| 議論内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・がん登録のスケジュール ・がん登録のデータ活用について 講演会 （講師：国がん 全国がん登録室 松田室長） ・データを見ながら奈良県のがんの現状を意見交換 （アドバイザー：国際医療福祉大学大学院 埴岡教授） |

■がん登録講演会

- 目的 がん医療の向上、がん予防の推進等を目的に「全国がん登録」が平成28年1月から開始され、原発性のがんについてすべての病院が初回の診断をした時に、がん患者の罹患情報を県に届け出ることが義務となった。それに伴い、がん対策を推進するために今後益々、がん登録データの活用が重要となってきている。

そのため、がん登録に関わる病院等の関係機関ががん登録の目的を理解し、がん登録データを有効に活用することを目的に講演会を開催する。

*がん登録部会の公開講演会として実施。

- 対象者 県内病院がん登録担当者・がん登録部会委員・がん対策推進協議会委員、その他部会委員

●内 容

| 日時・場所 | 内容・講師 | 参加者 |
|--|--|-----|
| 平成28年11月11日（金） 15：00～16：30 奈良県立医科大学 蔵櫃会館 3階 研修室 | 報告「奈良県のがん登録について」 奈良県医療政策部保健予防課 参事 戸毛 由樹子 講演「がん登録とそのデータ活用について」 国立がん研究センターがん対策情報センター がん登録センター全国がん登録室 室長 松田 智大氏 | 53名 |

●概 要

- ・平成28年1月に「がん登録等の推進に関する法律」が施行されたことに伴い、今後、がん登録データの活用が課題となっている。そのため、今年度から「がん登録部会」を設置し、データ活用について検討をしていく予定のため、その動機付けとして、部会の公開講演会として実施した。
- ・参加者アンケート結果では、参加者の80%以上が、報告・講演会について「理解できた」と回答されていた。
- ・自由記載欄では、全国がん登録の意義やデータ活用について必要と意見があった一方、具体的な入力方法など実務的な研修を望む声も聞かれた。今後、がん診療連携協議会がん登録分科会で実施している院内がん登録の実務者研修とも連携しながら、全国がん登録の精度向上にも努めて行く必要がある。

